

卯



港区職員退職者会だより

港区職員退職者会

発行 井口良夫

T10518511

港区芝公園1-5-25

港区職労内

03-3578-2830

あけましておめでとうございます。



港区職員退職者会
会長 井口 良夫

皆さま新年を健やかに迎えられることと存じます。

昨年10月に退職者会創立50周年を記念した定期総会を開催することが出来ました。改めて50年という歳月組織を紡いできた諸先輩に感謝するとともに、次の50年に向けてスタートしたいと考えています。退職者会の目的の一つである親睦を深める活動でバス旅行や同好会など参加型事業の実施も徐々にあります。年5回発行の退職者会だよりやお元気ですかを通じて会員の皆さんの絆を保つたのではと思っております。しかしながら、新型コロナウイルスは第8波到来とも言われており注意しながら事業を実施したいと考えています。是非多くの方にご参加頂き一緒に楽しみましょう。さて、私たちの生活では、昨年は電気、ガスなどとともに身近な

食品の値上げを切実に感じましたが、今年は更に値上がりという報道もあります。一方、社会保障では、昨年10月高齢者医療費負担が20%へ、更に保険料のアップや介護保険の自己負担割合を2割に引き上げる議論など国では様々な検討が進められようとしています。生活の基盤である年金制度や安心して受けられる医療や介護制度の動向にも関心をもっていかなければならない年です。

ロシアがウクライナに侵攻したまま年を越しました。日本でも防衛費の大幅な増とその財源を巡って論議されています。「平和は最大の生活基盤」、理想を希求しつつ現実もしっかり認識しからの議論が大切ではと考えます。今年こそ、新型コロナとウクライナ侵攻が早期に収束することを願っています。

新年が、会員の皆さまが健康でお元気に過ごされるときともに、病と闘っている方々については一日も早い快復を、介護されている方々は専門家などの支援も頂き健康で過ごされることを祈念し新年のごあいさつといたします。

本年も

よろしくお願ひします。

会長	井口 良夫
副会長	野村まゆみ
事務局次長	新村 和彦
事務局次長	恩田 英雄
事務局次長	並木 文雄
事務局次長	小山八千代
事務局次長	神田 市郎
事務局次長	小椋 正夫
事務局次長	須田 肇
事務局次長	(区職労書記長)
常任幹事	吉野 博之
常任幹事	波多江正光
常任幹事	田代眞智子
幹事	大友 正弘
幹事	篠原 君男
幹事	古山ふぢ江
幹事	千葉オサメ
幹事	山本 卓也
幹事	川尻 敏夫
幹事	松田 重彦
幹事	大滝 裕之
幹事	松原 滝子
常盤 茂	山本 治通
眞継 直	鈴木 芳子
嶋森 登	嶋森 登
長谷 幸子	長谷 幸子
井口 義明	井口 義明
本間 仁	本間 仁

港区職員退職者会の皆様、
あけまして

おめでとうございます。

港区長 武井 雅昭



井口良夫会
長はじめ会員
の皆様には、
新しい年を健
やかに迎え
ることと心からお慶び申し上げま
す。

日頃から、港区政に対し、変わ
らぬご支援、ご協力をいただき、
厚く御礼申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感
染症の感染拡大が続く中、区は、
区民以外の方もワクチン接種の対
象とするなど、地域での感染拡大
防止に努めてきました。4月には、
区民への2回目接種（12歳以上）
で、区が掲げた目標接種率85%を
達成し、少しずつ日常やまちなに
ぎわいも回復しつつあります。

令和4年10月には、みなと区民
まつりを4年ぶりに開催し、のべ
20万人を超える方々にお越しいた
だいたほか、11月には、3年ぶり
にMINATOシティハーフマラ
ソンを開催し、約5千人の全国各
地のランナーが港区内を駆け抜け
ました。

また、昨年は、新橋と横浜を結
ぶ日本初の鉄道が開業してから1
50年を迎えました。「鉄道発祥

の地「港区」の魅力を区の内外に
発信するため、新橋S.L広場での
イベントや区有施設での企画展示、
刊行物の発行などを精力的に行い
ました。

本年2月には、区内商店街がか
つてのにぎわいを取り戻せるよう、
対象の商店会加盟店舗のレシート
で景品が当たる「みな得レシート
キャンペーン」や、2度目となる
総額10億円のプレミアム付区内共
通商品券の発行支援を実施します。
また、コロナ禍を経て、デジタル
化が人々の生活に浸透し、暮らし
方や働き方は大きく変わりました。
行政手続のオンライン化やキャッ
シュレス化を徹底するなど、区政
のあらゆる分野におけるデジタル・
トランスフォーメーションの取組
をさらに強化し、高齢者や障害者
を含む全ての区民が必要な行政サ
ービスを受けられる社会の実現を目
指します。

今後も、「With コロナ」
時代を見据え、ワクチン接種の効
果的な勧奨と実施、感染防止対策
の啓発と実施に取り組みとともに、
変容するニーズを的確に捉えた施
策を実施してまいります。

港区職員退職者会の皆様が、今
年も健康で充実した一年を過ごさ
れますよう、心からお祈り申し上
げ、年頭のご挨拶といたします。

港区職員退職者会のみなさま、
あけまして

おめでとうございます。

港区職員労働組合
執行委員長 富塚 宏幸



諸先輩の皆様
におかれま
しては令和五
年の清々しい
初春を迎えら
れた事とお慶び申し上げますと
もに、平素より役員の方々を中心
に、組合書記局での組合ニュース
の仕分け作業をはじめ各種の行動
への参加や書記局にお越しの皆様
にアドバイスをいただくことも多々
あり、港区職労の運動を継承して
支えていただきますこと、心から
厚く御礼申し上げます。

さて、昨年もコロナに翻弄され
た1年でした。組合活動におきま
しても当初予定をしておりました
様々な活動が延期や中止に終わり、
執行部としても心苦しい年でした。
皆様におかれましても普段の生活
に不安やストレスを感じる毎日をお
過ごしのことと思います。組合と
しても、まだまだ先行きの見えな
い中ではありますが、コロナ禍で
も、いかに組合員の皆様の安全と
健康、そして雇用を守るための取
り組みできないかを考え、執行委
員会の書面開催やWebでの会議
を取り入れたり、若手執行委員に

新しい意見を貰いながら、制約の
ある中でも活動を止めない取り組
みを行っております。

ところで、退職者の皆様は、
初夢をみましたか？『一富士、二
鷹、三なすび』と云われています。
この後には『四扇（しせん）、五
煙草（こたばこ）、六座頭（ろく
ざとう）』と続くと聞いておりま
す。夢といえば、吉田松陰は「夢
なき者に理想なし、理想なき者に
計画なし、計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし。故に、夢
なき者に成功なし」と説きました。

港区職労も夢を要求現実に向けて
活動を継続していかねばなりません。
夢実現に向けて、先輩方の豊
かな経験に基づく知見をお借りし
て、本年も港区職労をよろしくお
願いいたします。

最後に港区職員退職者会の皆様
には、古くから「月」のシンボル
であるうさぎにあやかり「ツギ」
を呼ぶ円満な一年になりますよう
祈念して、年頭のご挨拶といたし
ます。

計 報

● 上田 暁郎

2022年11月26日 88歳

元助役で本会の相談役。今年9月お元気ですかには「足腰が大分衰えてきました。日々の行動範囲も限られてきました」と頂いたところです。お元気の頃は総会・懇親会にはいつもご出席して頂きました。心より、ご冥福をお祈り申し上げます。

● 小出 順一

2022年12月2日 89歳

● 小山 孝子

2022年12月14日 91歳

ご冥福をお祈りいたします。

『訃報』は

早めに事務局まで
会員・配偶者の方がお亡くなりになった場合は、必ず、港区職員退職者会事務局までご連絡ください。

弔慰金をお送りします。

※会費未納の場合は対象外となります。

港区職員労働組合内

港区職員退職者会事務局

T・03-3578-2830

F・03-3459-4393

『頭の体操』(第44回)

腸年齢の老化と脳機能の低下は比例しているとのこと。腸内の善玉菌を増やすことが脳を若く保ち、アルツハイマー病を予防するカギを握っているといわれています。

解答は7頁

出題 辻 裕之

◆周囲の8つと二字熟語になる漢字を見つけて、中央の空きマスに入れます。空きマスに入った4文字でできる四字熟語を答えてください。

◆動物の漢字の慣用句
囲みの中から一つ選んで慣用句を完成させてください。

- ① □蜂とらず
- ② □の頭も信心から
- ③ □の甲より年の功
- ④ □の道はへび
- ⑤ □百まで踊り忘れず
- ⑥ □の面に水
- ⑦ □のまねをする鳥
- ⑧ □を追う猟師は山を見ず
- ⑨ □をかぶる
- ⑩ □子にも衣装
- ⑪ □有に帰す
- ⑫ □牙の塔
- ⑬ □の尾を踏む
- ⑭ □につままれる
- ⑮ □を読む
- ⑯ □づかみ

参加者募集

- 蛇 馬 鱈 魚 蛙 虹 象
- 鹿 猫 鰯 鳥 鶴 狐 鷺
- 虎 雀

★荏原七福神めぐり

◆日時 1月21日(土) 集合13時
◆集合場所 JR大井町駅西口改札 東急大井町線入り口付近
◆所要時間 約3時間半
◆保険証・水分は必ずお持ちください。マスク着用をお願いします。
◆※終了後の親睦会は、予定していません。新型コロナの感染状況によ

よって中止の場合は、参加者にお知らせします。

- ★吉野 博之
☎090-6540-2661
- ★田代 真智子
☎090-6657-8948

★千葉県クラブの集まり

◆日時 4月1日(土)
◆集合時間 10時30分
◆集合場所 常磐線松戸駅東口
◆見学場所 戸定邸と歴史館
◆NHK大河ドラマで渋沢栄一の生涯を描いた「晴天を衝け」。
◆この中で話題となった徳川幕府最後の将軍 徳川慶喜その弟、昭武が140年前に建てた戸定邸と昭武がこだわった美しい洋風庭園、その庭園に咲き誇るベニシダレザクラなどを見学します。

- ◆担当
- 幹事 並木
☎090-6542-9002
- 幹事 宮崎
☎090-4669-8147

★親睦麻雀大会

◆日時 3月18日(土) 13時
◆会場 アフター5
◆浜松町駅前文化放送裏
☎03-3433-0577
◆参加費 1,500円
◆参加締切り 3月10日(金)

(申込先)
並木 文雄

☎090・6542・9002

岡村 昭則

☎080・7898・8282

第八波のコロナ感染を警戒する報道があります。しかし、国も経済界も一時の危機感から経済に舵を切った感がありますが、私たち退職者会は、万全の予防対策を取って麻雀大会を開催したいと思えます。

退職者会も「創立50周年記念総会・いきいき学習会やハイキング」など予防対策を取って実施してきました。

会場となる「アフター5」も、マージャン卓は、顔の高さでアクリル板で対角線に仕切られ、フェイスガードを付ける予防対策をしています。

安心して参加してください、お待ちしております。

事業報告

★親善ゴルフ大会

コロナ禍で三年ぶりの開催となった退職者会親睦ゴルフ大会が、10月24日(月)に、20名(内非会員1名)が参加して、京成佐倉駅から徒歩の交通便利な、佐倉カントリークラブで開催されました。朝のうち小雨が降り、コンディションが心配されましたが、スタ

ート時点では雨も止み、昼頃には陽が差して絶好のゴルフ日和となりました。

井口会長の開会宣言の後、インとアウトに別れ熱戦の火ぶたが切られました。この時期としては珍しく、パッティンググリーンが明らかから高麗芝からベントグリーンに切り替わる日でしたので、皆さん難しいパッティングに苦労した様でした。

■成績は、

- 優 勝…持丸 真人
- 準 優 勝…井上 衛
- 三 位…関口 弘之
- ベスト賞…戸嶋 成孝
- 関口 弘之



白旗のグリーン練習風景

俳句

◎徳武邦夫

- ◆遠山の稜線きりり今朝の冬
- ◆給水車に並び貰ふや冬の氷
- ◆幼子の瞳に映る聖樹の灯
- ◆ふんぎりをやうやくつけし柚子湯かな
- ◆寄鍋やほろりとここだけの話

◎田島精洲

- ◆町に出て探そうロマン歴史跡
- ◆豊かさを染み染み思ふ食事どき
- ◆手を休め音楽を聴くこの至福
- ◆過去の日々思い起こして苦笑い
- ◆赤い羽根少ない寄付で多い夢

◎澤藤盛光

- ◆京はづれ柁助二輪城南宮
- ◆岩倉や公卿隠れし冬座敷
- ◆庭枯るる葵守りき金地院
- ◆疎水招き借景紅葉無鄰菴
- ◆冬籠り千本釈迦堂仏たち
- ◆蹴鞠して小賀玉守る白峯社

川柳

◎藤田万両(洋三)

- ◆北信濃(妻の里)
- ◆お蚕さん桑をサクサクを食んでいた
- ◆ドドドツと屋根から雪が流れ落ち

◆トコトコと越後の魚商来たことも

◆キラキラと星降る夜をさえぎる灯

◆春へ向け雪解水がチヨロチヨロと

|| ラジオ時代⑦ ||

◆ながらにはFM局をサーフィンし

◆災害に役立つFMラジオ局

◆長官が大本営と化す時代

◆ネットにて全国ラジオ局選べ

◆ウオークマンスマホの違い前は見る

◎峯尾勇

◆和の空にミサイルいばって飛んでくる

◆自衛隊戦争ごっこをやっている

◆老いてまだ新年はなぜか浮き浮きし

◆バクさんへ夢の代わりにコロナ食べて

◆正月に今年で最後と今日も言う

投稿記事

昨年(令和4年)の定期総会で役員を退任された方に思い出等をお寄せ頂きました。

柏さんは、事務局長時代数々の改革、副会長更に都本部の事務局長など数々の役員を歴任され退職者会の発展に尽力されました。宮崎さんは、会計システムの構築や副会長そして千葉県クラブなど同好会活動などで活躍頂きました。岡村さんは、退職者会だよりを担当しワープロ入力に苦勞されながら編集・発行と今日のだよりの礎を築き、現在はホームページを担当して頂いています。辻さんは、副会長、幹事として会の運営に努めて頂き特に、ここ数年はだより編集の責任者やだよりの頭の体操、バス旅行での車中の盛り上げ役など会を支えて頂きました。これからも、私たち後輩の活動をしっかりと見守って頂きたいと思えます。永年有難うございました。ご健康をお祈り申し上げます。
なお、柏さんは「お元気ですか」に投稿して頂いています。

退職者会役員を終えて

宮崎 武雄

思えば退職後初めて参加した箱根での懇親会で、小山会長から役員になるよう勧められ断り切れなく結局引き受けてしまい、ずるずると二十年余の月日を過ごしてしまいました。その中で印象に残っているのは、二〇〇七年度(平成一九年度)から会費の値下げに係わったことです。その時にちょうど会計をしていました。会長はどうしても値下げをするという強い信念でしたので、実現するために、今まで委託していた分を手づくりで替えたり、経費のかららないクラブ活動に力を入れる等、会の充実を含め話合ったことを思い出されます。経費の使途をわかりやすくする、事業別予算もその一環です。

現在でも役員は常に効率的な執行を心掛けており事業の執行に関しては他の団体と比べても、遜色ないと思えます。役員になって、いろいろな事業に参加させて頂きました。お陰様で、現役時代には、接することもなかった多くの方々や新たに付き合いをいただき、退職後豊かな日々を送れたと感謝しています。人との交流は、コロナ禍の時期を過ぎて非常に重要なことと再認識しています。今後ともお付合

いのほど、どうぞよろしくお願います。

「退職者会だより」の

編集担当を終えて

辻 裕之

昨年10月の総会で役員を退任し、気持ち楽になったようです。ここ10年以上「だより」の編集担当をしていましたのでその解放感からだと思います。毎年総会で採択される活動方針で、具体的な取り組みのひとつに、会の情報誌「退職者会だより」の一層の充実を目指します。また、親しみやすい紙面づくりに努めますと書いてあります。このふたつの言葉、簡単に書いてありますが、実践していくのは大変難しいことです。今、会員は900人弱ですが、私は「だより」でこの会員の声を届けることが一番だと思っています。

10月発行の「お元気ですか」の冊子を読むと病と闘っている方もいます。そして、趣味を楽しみ、いろいろなことに挑戦している方も多く見受けられます。そういう方々へ「だより」の原稿依頼をしてみました。私が知らない方も多く、依頼の電話をかける時は緊張していました。電話が掛かってビックリした方もおりましたが、皆さん気持ち良く依頼を引き受けて頂き感謝しています。会と会員を繋

ぐのは「退職者会だより」です。会員が待ち遠しい、そして読まれる「だより」を目指して新しい担当者頑張ってください。期待しています。

退職者会役員を

退任するにあたって振り返る

岡村 昭則

平成31年4月30日のエッセイ「平成最後の日に平成を振り返る」の中の六番目に書かれているのが下記のことである。

【平成13年4月、60歳まで長く勤められたのもよき先輩や同僚たちがいてこそであり、感謝を込めて定年退職後は退職者会の役員を引き受けて、得意とするワープロを駆使して新聞や記念誌の作成に励むと共に、退職後の社会保障はじめてとする様々な要求活動に参加してきたことは言うまでもない。退職者の交流を盛んにしようと、仲間たちと交流促進事業を展開し、私はハイキングを担当して今日も続けている。一番の思い出は、村山談話が発表されてから20年後に戦後70年平和記念誌を編集し発刊したことである。10年間続けた新聞作りも後輩に引き継ぎ、その代わりに退職者会HPを開設して、退職者会だよりよりも早い情報を会員の皆さんに提供している。一線を退いても自分が倒れるまで退

職者会活動には参加したいと考えている。」

このエッセイを書きから4年が経過した。私が役員を引き受けた時は退職者会の組織率も100%に近かったことや、それまでの退職者会は元労組役員や元管理職等の古参役員が多く、運営形態も労組に近いもので一定の行事を実施するのみであった。そこへ新風をへ吹き込んだのが、宮崎さん、私、柏さん、辻さん、本郷さん、洪川さん、吉野さん、恩田さん、井口さん、並木さん、宍戸さん等若手の役員である。退職者の交流を盛んにしようと様々な活動を展開して都本部の中でも一番活動的な退職者会となったことは言うまでもない。それ故に私も港区職員退職者会に誇りを持っている。組織率が50%を切る現状で若い加入会員との考え方の乖離もあるが、創設した当時の先輩たちの思いをこれからも引き継がれていくことを願っている。

わが良き友よ

遠藤 博之

平成元年度(1989年度)から平成4年度(1992年度)まで総務課統計係が私の配属先でした。平成2年(1990年)は、5年に一度行われる国勢調査の年でした。その当時の統計係は、区役所4階にあり、鶴岡係長を筆頭に職員7名で業務を行いました。

国政調査は、町会・自治会などの協力が必須です。調査を実施する前年の平成元年から、調査員の推薦をいただきました。毎日町会廻りを行いました。調査区の設定など地道な作業も多く、ピーク時は数カ月間土日返上で仕事をしました。調査の期間中は、問い合わせの電話がひっきりなしで、その対応に苦慮したことも今となっては懐かしい思い出です。

鶴岡係長が、大のお酒好きだったので、係で毎夜新橋に繰り出すことも多く、いろいろ話し合うこととお互い励まし、支え合いました。みんな若く、苦勞もしたけれど張り合いがあり一日一日が充実していました。明日は明日の風が吹くそれが係の合言葉でした。

国勢調査が終わり、それぞれ別々の部署に異動しましたが、年に数回、近況報告を兼ね親睦会を重ねてきました。平成14年、鶴岡係長の退職が近

づく中、12月にお祝いを兼ねメンバー7人で仙台へ1泊2日の旅行に出かけることになりました。東北新幹線に乗り、仙台駅で仙石線に乗り換え、陸前浜田駅から徒歩10分。お目当てのお店で、カキ料理とお酒を堪能しお祝いしました。食事をしながら、今後、残りのメンバーがそれぞれ60歳の定年を迎える年に行き先の希望を聞き、メンバー全員でその場所でお祝いしようという話になりましたが、その時は誰も実現するとは思いませんでした。

時は流れ、平成24年2月、次に一戸さんの退職が近づき、メンバーに旅行の提案をしたところ、全員賛成で一戸さんが希望した名古屋に旅行しました。全員で行くのはもうこれで終わりに思いました。平成28年1月には川島さんの希望で再度仙台へ、平成30年10月は杉浦さんの希望の長野小布施へ行きお祝いをしました。翌年令和元年(2019年)11月、伊藤さんは金沢を旅行先として希望していましたが、直前に台風の影響で北陸新幹線が不通となり、見送ることも考えました。しかし、7人の執念が通じたのか旅行前に新幹線が復旧し予定どおり実現しました。令和3年、私の番となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で旅行は断念せざるを得ませんでした。いつ行けるか見通

しが全くつきませんでした。ようやく今年11月6日・7日に希望した富山旅行にメンバー全員で出掛けることが出来ました。

旅行当日、東京駅に集合しましたが、出発の10分前には全員揃い、みんなの期待の大きさが感じられました。北陸新幹線の車中では、これまでの旅行と異なり、おしゃべりを控え、感染対策の徹底に心掛けましたが・・・(笑)。富山は2日間とも秋晴れで、富岩運河環水公園から雪を被った立山連峰がとてきれいでした。

共に仕事をしてから32年。4年後に最後のメンバーが60歳を迎えます。毎回このメンバーで会うと、すぐにタイムスリップして当時を思い出します。一緒に頑張ったメンバーと旅行が出来ることを本当に有難く感じます。大切な財産です。ここまで、7人それぞれの人生を歩んできました。子どもが結婚したよ、孫ができましたよ。その度に喜びを分かち合いました。仕事から離れても気兼ねなく話ができる仲間がいることに幸せを感じます。そしてこれからもこの会が長く続けられるといいなと思います。さあ、4年後はどこに出かけましょうか。みなさんそれまでお元気で。また会いましょう。

頭の体操・・・解答

◆四字熟語の答え
①意 ②得 ③満 ④面
四字熟語・得意満面

◆動物の漢字の慣用句
①虻 ②鰯 ③亀 ④蛇 ⑤雀
⑥蛙 ⑦鶴 ⑧鹿 ⑨猫 ⑩馬
⑪鳥 ⑫象 ⑬虎 ⑭狐 ⑮鯖
⑯鷲

会長のつぶやき
また、お正月を迎え
「大人はなぜ時間を
短く感じるのか」
井口 良夫

79回目の正月を迎えました。「あつという間の1年」年々時間が早く過ぎると感じます。時間の進み方は草等で一定のペースですが、みなさんは如何ですか。
NHKTVの「チコちゃんに叱られる」という番組(2022年12月2日)での回答は「人生にトキメキがなくなったから」でした。時間の感じ方には、心がどのくらい動いているかが重要で日常生活の中でトキメキを感じている機会が多いか少ないかの違いがポイント。ワクワクする感情と関係、例えば退屈な会議で何度も時計を見る場合、なかなか時間が過ぎない

一方、楽しいことに夢中になるとあつという間に過ぎる。時間の感じ方の差は、トキメキという、心を自発的に動かすことが不足していることに関係とのこと。子どもには待ち遠しい行事や出来事が多いのに対して、大人になると慣れ親しんだ刺激の少ない出来事ばかりのため悩が今まで経験してきた過去の情報を振り返ってばかりいる状態に。

私も子どもの頃お正月が待ち遠しかった記憶があります。雪国新潟、昭和の20年代からの小学校・中学校時代の日常は貧しい生活でしたが、正月は普段は食べられない「あんこの餅」「一切れの切り身鮭」「豆腐の入ったお雑煮」「豆腐も盆・正月のみ」など3カ日は普段は口にできない食事をすることができ、「お年玉」も楽しみました。当時は童謡にある「もういくつ寝たらお正月」という気持ちでしたが、今や「もうまた正月か」です。

どんなに年齢を重ねても、新たなチャレンジや、好奇心をもって新しいことをするようにすれば、時間の感じ方は遅くすることが出来るようです。日常生活で少しでも違った発見をして毎日を充実させていけば、結果として「あつ」という間の1年ではない年末を迎えることになるのではないのでしょうか。とは言え、こうした心がけ

も大事と思う一方、「特に何事もなく平穏な1年だった」という「あつという間の1年」というに感じ方も大事な気もします。※興味のある方は、一川誠著「大人の時間はなぜ短いのか」(集英社新書)を
※鴨川の大山千枚田「棚田米」今年には平年並み玄米57kgの収穫、仲間と収穫祭しました。

街のスポット

■新旧ビル
超高層ビルの先駆けであった浜松町駅前の貿易センタービルは解体でどんどん低く
(大門交差点から)



一方、東京タワーの後ろ麻布台に現れたビル、地上64階高さ約330m。写真では遠近の差で東京タワーより低く見えるがほぼ同じ高さ。

(庁舎前から)



■味芳齋が一時閉店
みなさんも一度は食べたのではありませんか「辛い・旨い薬膳料理」のお店が、12月28日で現店舗での営業を終了、新店舗での再開は調整中とのこと。創業から60数年、私も昭和40年課税課の「納税通知書」発送後の打ち上げで宴会した記憶があります。今も退職者会業務の際に昼食していました。

一時閉店のお知らせ
2022年12月26日(水)をもちまして、味芳齋本店は現店舗での営業を終了いたしました。誠に勝手なお願いですが、誠に勝手なお願いです。
今後につきましては、新店舗にて営業再開する予定であり、現店舗閉店中では、お客さまの味かくなる時期までには、皆様にお知らせできることを目指しております。
創業以来お馴染み「変わらない味を守り続けるため」に、変わります。
営業再開の際は、行方のご連絡を賜りますようお願い申し上げます。
味芳齋 本店

★高荒 良吉さんの版画



思い出の写真



■お便りのお願い

会員の皆さまからのお便りで「退職者会だより」を一層親しみやすい内容としたいと考えています。毎号「テーマ」を決めて募集する予定です。是非、皆さまの寄稿をお願いします。
※詳しくは、別紙参照

◆テーマ①

「私の入区当時の思い出」
入区した当時との世相、入区当時の職場やエピソードなど

◆テーマ②

「どう過ごしている、どう過ごしたい 私の70歳代」
60歳代後半まで何らかの仕事をする時代となりました。次の70歳代は比較的自分の時間を使える「充実できる時期」とも言えるのではと思います。70歳代以上の方は今をどう過ごしたい、これからの方はどう過ごしたいかなどお聞かせください。